



六郷中だより

六郷中学校だより第15号

令和7年2月19日

<六中HP>



発行・文責：校長 渡邊 賢

先週末には暖かい日がありましたが、今週は寒さが戻り、まだまだ冬の様子が続きます。

東北・日本海側では強い寒気の影響で、大雪となっています。社会科や理科で学びますが、冬は西高東低の気圧配置となって、日本海側では雪、太平洋側では乾いた晴天の日が続きます。では、今年なぜ大雪となっているのでしょうか。

雪を降らせるのは雨雲です。雲の中では雪や氷の粒がつけられます。雪や氷の粒が溶けずにそのまま地表に達すれば雪、途中で溶けて雨粒になれば雨となります。では、雨雲は何からできているのでしょうか。ほとんどの雲は海から供給される水蒸気がもとです。水蒸気がたくさん海から出てくれば、沢山の雨雲ができることになる。どうやら、最近は海水の温度が高くなり、水蒸気をたくさん含んだ雨雲が日本にやってきているようです。

では、海水の温度が高くなっているのはなぜでしょうか。皆さんで考えてみてください。まだまだ寒い日が続きます。暖かくして睡眠を十分とるようにしてください。

3年生を送る会を通して

17日（月）午後、3年生を送る会が行われました。3月に卒業する3年生にとって思い出となる素晴らしい3送会になりました。



新執行部や実行委員が中心になり、取組期間中にはプレゼント作成、呼びかけの企画立案、合唱練習を行いました。執行部や実行委員の努力も当然ですが、2年生・1年生それぞれの協力体制と頑張りもすばらしかったです。今回の取組を振り返り、成果



と課題を見つけ、来年度の生徒会活動にいかしてくれることを期待します。

3年生は、六郷中

学校で過ごす時間が残り少なくなりました。3年生には、卒業しても地元六郷を忘れず、進学先でさらに活躍してほしいと思います。



みさと学で学んだ成果を届けました

12日（水）役場大会議室で、「市川三郷提言プロジェクト」として、町長さんに六郷中学の代表としての意見を届けてきました。



みさと学で学んだことをもとに、将来市川三郷町がどのような町になってほしいのかを工夫を凝らしたプレゼンで行いました。

引率した先生方からは、堂々と発表ができたことを伝えられ、教育長さんからは大変すばらしい内容・発表だったと評価していただいたとのことです。

中学生ならではの視点で、町の良い点・悪い点を見つけ、町をもっと良くしていくためのポイントを整理し、具体的な取組を導き出せたことは、大きな成果でした。

2年 ほうとうづくり

18日（火）、家庭科の授業で、『郷土料理を知ろう「ほうとう作り」～地域の方とふれあい体験～』



を実施しました。これは、地域学校協働本部の活動としても行われ、食生活改善推進委員5名の皆さんをお招きしました。めんは小麦粉からつくり、肉や具材も丁寧にカットされ、おいしくできあがりました。できたてのほうとうをいただき、とてもおいしかったです。ご指導ありがとうございました。